

江古田三丁目障害者グループホーム等説明会記録

日時 令和6年3月27日（水） 11時00分から11時55分まで

会場 中野区役所9階 第11、第12会議室

実施方法 会場及び Teams の併用による開催

参加者：（会場）34名、（Teams）11名 計 45名

運営事業者：日本リック株式会社福祉介護事業本部部長他2名

区：障害福祉サービス担当課長、障害者施設係職員4名、施設課職員3名

1 内容

（1）区より基本計画（案）の概要及び今後のスケジュールについて説明（障害福祉サービス担当課長）

（2）質疑応答

【参加者】

自分の子どもは知的障害で、2階に入居されることが想定されるが、どのような導線が想定されるか。

【区】

2階を利用される方は、1階玄関（風除室）から入り、すぐ右手の階段を上る。上った後、ホールからユニット内に入り、廊下を西側に向かっていく左側に居室が並んでいる。突き当たりに世話人室があり、その両隣にも居室が配置されている。

【参加者】

エレベーターはないのか。また、2階の利用者は1階で職員が受入れをしてくれないのか。

【区】

玄関に入って、右側の階段の隣にエレベーターを配置している。受入れに関しては、1階玄関で職員が受け入れを予定している。

【参加者】

1階居室について、手洗い場と収納棚の位置を見ると、入り口から車椅子が入る際に狭いのではないかと。

【区】

平面図に記載している洗面台等の位置については、仮記載しているため変更可能である。また、入り口は車椅子が入れる広さになっている。

【参加者】

利用者定員について、知的障害6名、身体障害6名の記載があるが、男女で何人なのか決まっているのか。

【区】

現段階では男女の内訳を決めていない。

【参加者】

短期入所について、身体障害1名、知的障害1名と記載があるが、空床の場合は、例えば身体障害2名の利用は可能か。

【運営事業者】

柔軟に対応していく。

【参加者】

日中一時支援事業について教えて欲しい。また、前回7月に実施した情報交換会でもらった資料では、総面積が150平米、各居室が7.5畳だったものが、総面積が181平米、各居室9.3畳になっているが、再度図面の練り直しがあ

って最終的にこの大きさになったのか。

【区】

日中一時支援については、在宅で障害のある方を日常的に介護している方が、疾病等の理由により介護することが困難になったときや、一時的な休息が必要になったときなど、一時的支援を行うもので、いわゆる宿泊を伴わないものとなっている。

施設の広さについては、7月時点では図面がなかった。また、情報交換会の中で、利用者が過ごしやすい居室の広さについても意見が出ていたため検討を行った。他グループホームを何件か見学させてもらい、どれくらいのスペースがあれば利用者が過ごしやすいのかを考え今回提示した広さとなっている。

【参加者】

身体障害者の場合は、基本的に2人介助という認識でよいか。ベッドへの移乗の際に一人だと利き手の問題等あり大変だと思う。ベッドの向きも重要になってくる。

【運営事業者】

ベッドの向きはその利用者に併せて変更可能かと思う。必要があれば2人体制も取れると思うので、入居される利用者に併せて対応していく。

【参加者】

看護師は常勤か。

【運営事業者】

常勤看護師が一番良いとは思いますが、難しい面もあるため、すぐに来てくれる医療との連携を考えている。

【参加者】

自分の子は医療的ケアが必要であるが、看護師が不在のため江古田の森以外に宿泊ができない状況である。かみさぎこぶし園の宿泊行事にもついて行き対

応している。当該事業を見て医療的ケアも対象となっており、大変うれしい。

【参加者】

医療的ケアと強度行動障害を中心とした重度障害者のグループホームということ謳っている中で、常勤看護師の想定がないとのことだが、夜間の医療的ケア等どのように対応する予定なのか、現在の考えを知りたい。結果的に医療連携ができず受入れ不可とされてしまっては困る。

【運営事業者】

現在、訪問看護をしているクリニックと、24時間体制で私たちが呼ぶと、すぐに看護師や医者が駆けつけてくれるところと連携ができるよう話を進めている。

【参加者】

職員体制の人数について教えて欲しい。

【運営事業者】

まだ決まっていない。他グループホーム等の見学をして人員体制を考えている。どのような利用者が入居されるかでも変わってくるため、現在検討中である。

【参加者】

常勤看護師を現在考えていないとのことだが、重度障害者の方は日々の変化を診ながら対応していくことが重要だと感じている。可能であれば医療連携ではなく、常勤看護師を配置することはできないのか。

【運営事業者】

我々も常勤看護師がいた方が安心だとは思っている。自社で持っているデイサービスに看護師がいる。当初は看護師が常駐できるように進めていきたいと思うが、必ず常駐できるとは約束できない。今いえることは先ほど答えた通り医療連携になるかと思う。

【区】

区としても、看護師の必要性は感じている。実際に看護師不足の問題があるが、まだ時間があるので、看護師の配置については事業者と共に検討していきたい。常勤でなくても、非常勤でも可能なのか等、もう少し具体的に詰めていきたいと思う。

【参加者】

7月の情報交換会の資料で、前提条件の中で、「各室に天井走行リフト及びモニタリング用カメラが設置できる回路を確保」との記載があったが、今回の計画（案）に記載がない。入っているという認識で良いか。

【区】

特段明記はしてないが、設置に関しては事業者と契約者の中での話し合いになるかと思う。

【参加者】

施設を整備する中で組み込まれるのか教えて欲しい。

【運営事業者】

モニタリング用カメラについては基本的には設置予定である。ただしプライバシーの観点から、個々の契約の中で設置の有無を考える。

【参加者】

天井走行リフトについてはどうか。

【区】

設置方法を考えているところ。常設でなく、レンタル等で可能なのか等検討を進めている。

【参加者】

居室での過ごし方について、自分の子どもは床に着座していることが多いが、

床の素材等については既に決まっているのか。

【区】

床暖房については、基本計画の中ではまだ決めていない。基本設計・実施設計の中で決めていく。

【運営事業者】

全員がベッドではなく、床で過ごされる方についてはお布団やマットを敷いて対応するなど、個々の利用者に合わせて対応していく。

【参加者】

生活の場ということで、余暇活動についても力を入れられるような職員配置やプログラムにして欲しい。施設ができて、食事等出るけど、その他の時間何をしているのか不明では、生活の質が落ちてしまうので、要望として是非検討して欲しい。

【参加者】

天井走行リフトがあれば介助者1名でも移乗が可能なのではないか。ただし、設置する天井走行リフトの種類を吟味する必要がある。設置したのはいいが使用できないのでは意味がないため。後付けするのでは再度予算を調整しなくてはいけないと思うので、現段階から予算の中に組み込んで置いた方が良いのではないか。全室ではなくても、何室かに設置できるよう検討して欲しい。

【区】

今後、基本設計を作成する中で出た要望を踏まえ、導入の検討をしていきたい。

【参加者】

スケジュールについて、令和6年3月の近隣住民への説明会は既に実施しているのか。

【区】

3月22日（金）と3月24日（日）に実施している。

【参加者】

先ほどから質問を聞いている中で気になったのは、自分たちの子どもが快適に過ごせるようにということで質問や要望を参加者はしているが、当該事業はあくまでもグループホームである。入所施設ではないということを参加者側も認識する必要がある。

【区】

入所施設ではないということは区としても理解している。グループホームとして、利用者が過ごしやすいような施設を作っていきたいと思っている。

なお、先ほど地域説明会の話が出たが、江古田地区の町会長会議でも説明をしている。また、昨年9月になるが、基本計画を作成する旨を近隣住民に直接会って説明をしている。

【参加者】

説明会の様子について教えて欲しい。

【区】

「やっとグループホームの計画が進むのですね。」という意見をいただいた。

【参加者】

質問の前に、会場の参加者の声が TEAMS では聞き取れなかった。議事録を作成して見せていただきたい。

また、前回説明会で各部屋のエアコンは入居者が設置するという話しであったが、その後どうなったか教えて欲しい。

【区】

聞こえなかったとのこと大変申し訳ない。なお、これまでの説明会の議事録についてもホームページで公開しているため、今回も作成し公開する予定である。

エアコンについては、区で設置する方向で考えている。